

事業シート（概要説明書）

予算事業名	多様な主体との交流・共生による農山漁村再生事業費	事業開始年度	平成19年度
上位施策事業名	地域の特性を生かした農山漁村の振興と多面的機能の維持増進	担当部局	農水商工部
根拠法令	なし	担当室	農山漁村室
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	グループ名	ふるさと振興G
事業の必要性・実施の背景	<p>社会経済の変化に伴い、農山漁村地域では過疎化、高齢化により地域の担い手が不足するとともに、地域の基幹産業である農林水産業の低迷により、地域活力が低下している。</p> <p>一方、「心の豊かさ」を求める人たちが増え、美しい景観や伝統的文化に恵まれた農山漁村地域が有する「ゆとり」や「やすらぎ」などの多面的な機能への期待が高まっている。</p> <p>このため、グリーン・ツーリズムなどにより都市と農山漁村との交流促進を図ることで、農山漁村地域の高齢者・女性の生きがいがづくり、雇用の場や所得機会の確保だけでなく、訪れた人々も満足できる地域づくりの取組が求められている。</p> <p>※グリーン・ツーリズム：緑豊かな農山漁村地域において、その自然、文化、人々の交流を楽しむ滞在型の余暇活動</p>		
目的 (何をどうするために)	<p>過疎化・高齢化した地域が自立し維持・発展していくため、地域の豊かな資源を活用して、魅力ある製品やサービスを提供できるビジネスを生み出すことで、雇用の場や所得機会を確保するとともに、その魅力を積極的にPRすることで、地域住民と都市住民をはじめ多様な主体との交流・共生を促進する。</p>		
目標 (何がどうなれば達成か)	<p>農山漁村地域の「やすらぎ」や「ゆとり」を感じられる豊かな地域資源を提供できる取組により、多くの人々が地域に訪れている。</p>		
対象 (誰・何を対象に)	<p>農山漁村地域住民及び都市住民</p>		
事業概要 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)		
	<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体:)		
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		
事業内容 (手段、手法など) ※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載	<p>A 魅力ある三重の里まるごとPR (広域的で一元的な情報発信)</p> <p>美しい自然、自然を生かした生活、素朴な体験など農山漁村の魅力をまるごと大都市圏などにおいて広く発信し、「三重の里」ファンづくりへの参加を通して農山漁村地域へ訪れてもらい、地域の人々との交流・共生を促進する。訪れる人々に魅力ある製品やサービスを提供できるビジネスを生み出すことで、雇用の場、所得機会の場の確保を図り、農山漁村を再生し次世代へ継承する。</p> <p>B 新たなグリーン・ツーリズムの推進</p> <p>(1) 新たなグリーン・ツーリズム研修会開催 (広域ネットワーク化の推進、ビジネスとしての確立支援)</p> <p>グリーン・ツーリズム実践者のネットワーク化や新たなグリーン・ツーリズム推進のための研修会を開催</p> <p>(2) グリーン・ツーリズムネットワーク協議会設置検討 (広域ネットワーク化の推進)</p> <p>県域協議会の設置や、近隣県等広域連携型グリーン・ツーリズムの仕組づくりを検討</p> <p>(3) 人間福祉型グリーン・ツーリズム等プログラム開発 (新たなビジネスプログラムの開発)</p> <p>人間福祉型グリーン・ツーリズム等新たなグリーン・ツーリズムプログラムの開発</p> <p>(4) グリーン・ツーリズムコーディネーター派遣 (ビジネスとしての確立支援)</p> <p>地域づくりに取り組もうとする農山漁村地域を支援するため、アドバイザーや研修会講師を派遣</p>		
関連事業 (同一目的事業等)	<p>・都市と農山漁村の共生・交流ニーズ調査緊急雇用創出事業</p>		

事業シート（概要説明書）

予算事業名		多様な主体との交流・共生による農山漁村再生事業費				事業開始年度		平成19年度	
		23年度（予算）		22年度（決算）		21年度（決算）		20年度（決算）	
コスト	報償費	892 千円		630 千円		615 千円		371 千円	
	委託料	3,150 千円		1,016 千円		2,831 千円		3,437 千円	
	旅費	1,728 千円		1,079 千円		234 千円		447 千円	
	使用料及び賃借料	887 千円		218 千円		93 千円		107 千円	
	その他	843 千円		3,129 千円		2,378 千円		4,070 千円	
	事業費合計	7,500 千円		6,072 千円		6,151 千円		8,432 千円	
人件費	担当正職員	0.75 人	6,756 千円	0.75 人	7,137 千円	0.75 人	7,103 千円	0.75 人	7,007 千円
	臨時職員等	0.15 人	318 千円	0.15 人	314 千円	0.15 人	313 千円	0.15 人	310 千円
	人件費合計	0.90 人	7,074 千円	0.90 人	7,451 千円	0.90 人	7,416 千円	0.90 人	7,317 千円
総事業費		14,574 千円		13,523 千円		13,567 千円		15,749 千円	
財源内訳	国庫支出金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	その他特財	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	一般財源	7,500 千円		6,072 千円		6,151 千円		8,432 千円	
	財源合計	7,500 千円		6,072 千円		6,151 千円		8,432 千円	
事業実績	活動実績	<p>棚田などの里山の風景や郷土料理など農山漁村の魅力を広く発信するとともに、農山漁村の資源を活用し、都市と農山漁村との交流・共生を促進した。</p> <p>①三重の里いなか旅のススメやインターネット、メールマガジンなどを通じたタイムリーな情報発信や「田舎体験講座」などを通じて、県内外に三重の里ファンづくりを進めた。</p> <p>②都市との交流により、農山漁村を再生しようとする市町や地域を支援するため、アドバイザーを派遣するほか、モデル的取組を支援した。</p>							
	効率指標 (事業費/活動指標)	【活動指標名】	単位	H22年度	H21年度	H20年度			
		①「三重の里いなか旅のススメ」（施設紹介冊子）発行	回	—	1	1			
		②農山漁村アドバイザー「田舎の匠」派遣	回	9	7	9			
	③農山漁村再生モデル支援事業	ヶ所	6	7	9				
事業成果	成果実績 (事業目標達成状況)	【成果指標名】	単位	H22年度	H21年度	H20年度			
		①農山漁村地域の主要交流施設利用者数	人	4,243,036	4,102,024	4,077,699			
		②三重の田舎ファンクラブ参加者数	人	4,057	2,850	1,300			
		(注)成果指標②は累計							
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<p>農山漁村地域の主要交流施設利用者は年々増加し、地域で雇用の場や所得機会の場も増えつつあるとともに、地域の資源を活用した特産物などの商品開発増にも繋がってきている。また、これまでの取組を通じて、地域の生産物や人と連携した地域の自立を支えるモデル的交流施設もいくつかできてきているが、県全体ではそのような地域は少い状況にある。</p> <p>今後は、各交流拠点施設を広域的なネットワークで、げることや広域的で一元的な情報発信を行うことで、今まで以上に周遊時間や交流人口を増やすとともに、新たなビジネスプログラム開発やビジネスとしての確立支援等を引き続き等を行うことで、地域に暮らす高齢者、女性の生きがいづくり、働き手の安定収入の得られる雇用の場や所得機会の確保などの三重の里でのビジネスを促進し、自立、維持・発展できる地域づくりを進める必要がある。</p>							
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<p>【岐阜県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市農村交流支援事業(2,800千円) ・田舎暮らしビジネス創出支援モデル事業(45,000千円) ・ぎふの田舎のとおきツアー50事業(20,000千円) <p>【愛知県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流ネットワーク推進事業(1,545千円) ・農家民宿開業サポート事業(8,006千円) ・中山間地域農林水産物産地直売所連携活性化事業(15,029千円) 							
特記事項 (事業の沿革等)		なし							